

メタバース(metaverse 3D 仮想空間)を利用した探究学習

京都館 PLUS X「Q 都 Study Trip」 京都の「Q」をめぐって京都 1200 年の伝統から学ぶ

先週「ポリュメトリックビデオ」の撮影 ([校長室だより第29号](#)) に挑戦した3年生が「メタバース (metaverse 3D 仮想空間)」での学びに挑戦しました。

メタバース (metaverse 3D 仮想空間) のユーザー数がなんと十万人規模のユーザーを抱えるサイトも出現しているとのこと……。在宅勤務やコロナ過を通して、ユーザーのオンラインコミュニケーションの能力が向上したことに加え、3D 技術や通信技術、PC・モバイル端末の発達によって、より現実的に感じられる仮想空間が生まれてきたためであると言われています。

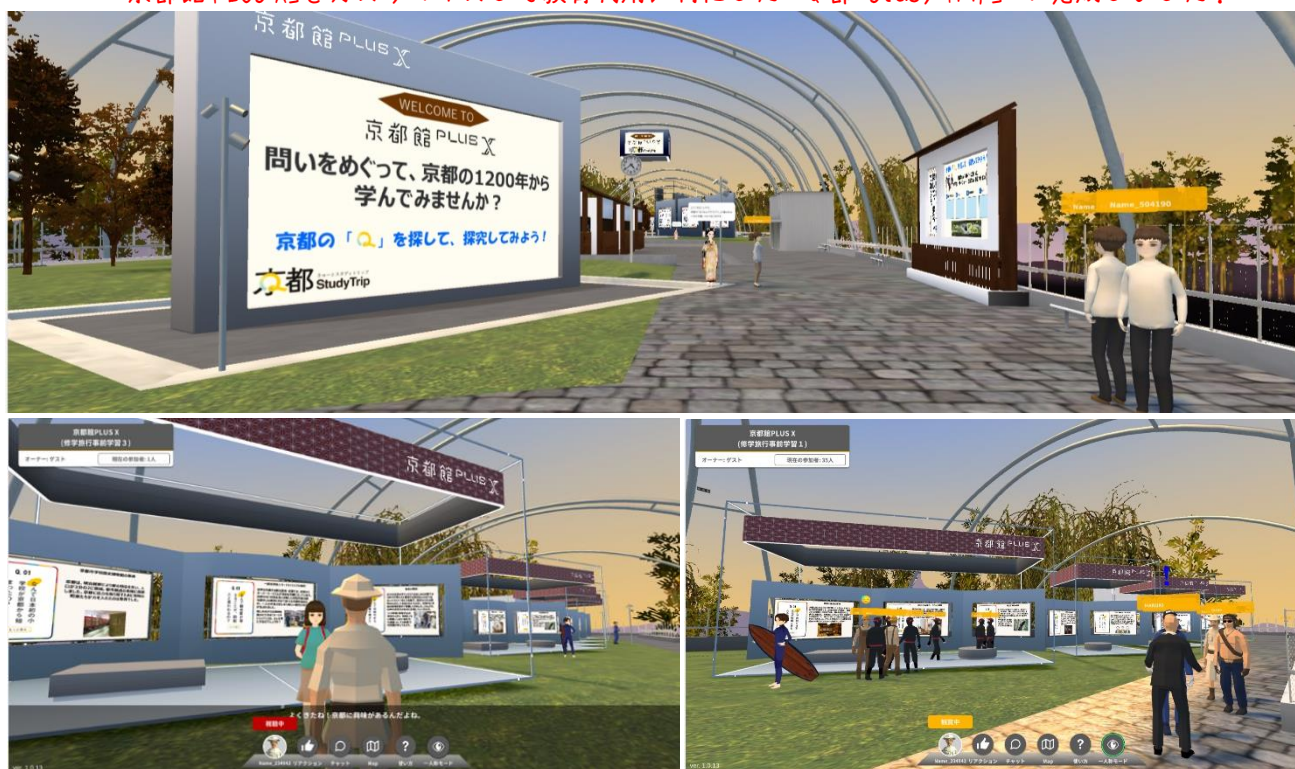
メタバースが、新しい交流・体験・遊びとともに経済活動や教育活動の場として捉えられるようになってきています。もう生徒の皆さんはゲーム等で体験している人も多いと思いますが、ネットユーザーが過ごす場所が、現実世界からインターネット、そして仮想空間へと変化してきているといわれています。

今回探究学習に利用したのは「京都館 PLUS X」

<https://www.kyotokan.jp/vr-kyotokan/>

一般社団法人渋谷未来デザインが、公園の高度利用を目的に、大日本印刷株式会社(以下、DNP)、渋谷区立宮下公園の指定管理者の宮下公園パートナーズと共同実証事業として運営する、渋谷区立宮下公園のバーチャル空間「渋谷区立宮下公園 Powered by PARALLEL SITE(パラレルサイト)」の次なるメタバースとして京都市の情報発信空間「京都館 PLUS X」を開発。「京都館 PLUS X」は、バーチャル空間上に、モニターやパネルを設置し、伝統工芸や京都市のイベント、観光資源等の京都の魅力を発信、体験できるだけでなく、渋谷に住む人と京都市に住む人が交流できる場として稼働しています。

「京都館 PLUS X」をカスタマイズして教育利用に特化した「Q 都 Study Trip」が完成しました！



本時のミッション

「修学旅行を思い出して…京都から学ぶ」

- ① 指定の URL※より各自でメタバース(metaverse 3D 仮想空間)京都館 PLUS X「Q 都 Study Trip」に潜入する
- ② メタバース京都館 PLUS X「Q 都 Study Trip」を探索。(舞妓さんのメッセージや情報ボードをよく読む)
- ③ 各自探究したい「Q」を見つける(ヒント:小学生・サーファー・魚屋さん)
- ④ 班になって9つある「Q」から1つの「Q」を選ぶ
- ⑤ 班ごとに Study シート(ppt 共同編集シート)の「Q」の1つを完成させる(インターネット・本等で調査)
- ⑥ Study シート「記入者番号」に原宿外苑O組〇班を入力して終了

※「Q 都 Study Trip」URLは現在公開しておりません！

ミッション ①～③ 20分間

個人での探究活動。メタバース上を散策して情報を探していきます



ミッション ④～⑥ 30分間

チームで collaboration して短時間で課題解決にあたります



この後、出来上がった Study シートをもとに京都市の専門家の話を聞く予定です。